

通し番号	3970
------	------

分類番号	15-24-13-01
------	-------------

(成果情報名) 遠赤色光カットフィルムを用いた葉ネギの葉鞘基部肥大抑制効果
[要約] 4月まき葉ネギを、遠赤色光カットフィルムを用いてトンネル栽培することにより、葉鞘基部の肥大が抑制され、高品質化する。
(実施機関・部名) 神奈川県農業総合研究所 生産技術部 連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

葉ネギのトンネル栽培においては、品種により葉鞘基部が肥大し、品質低下をもたらす。野菜茶業研究所では、ワケギ栽培において遠赤色光カットフィルムで被覆することにより、鱗茎形成が抑制され、高品質化することを報告している。そこで、同じフィルムを葉ネギのトンネル栽培に使用したときの葉鞘基部抑制効果を明らかにした。

[成果の内容・特徴]

- 1 葉鞘基部が肥大しやすい品種‘さとの香’及び‘わかさま黒’では、遠赤色光カットフィルムによる葉鞘基部肥大が効果的に抑制される(図1、表1)。
- 2 調製重、葉数、及び葉色については、被覆フィルムによる差は生じない(表1)。
- 3 トンネル内気温及び地温は、遠赤色光カットフィルムではPO(ポリオレフィン)フィルムに比べ温度上昇が抑えられる(表2)。
- 4 遠赤色光カットフィルムを4月上旬から8月上旬までの4ヶ月露地で曝露しても、フィルムの波長別光透過率に変化はなく、劣化も少ない(図2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 遠赤色光フィルムはPOフィルムより高価である。
- 2 トンネルのすそを開けた場合、通路側に位置する植物体では葉鞘基部抑制効果がやや劣る。

[ 具体的データ ]



P O 遠赤色光カット さとの香 P O 遠赤色光カット わかさま黒

図1 被覆資材が葉鞘基部の形態に及ぼす影響 (収穫時)

表1 被覆資材が葉ネギの生育に及ぼす影響

品種	資材	調製重 g	株数 本/m <sup>2</sup> 条	葉数 枚	草丈 cm	葉鞘長 cm	葉色	葉鞘太径A mm	葉鞘細径B mm	肥大指数 A/B×100
さとの香	遠赤色カット	1.8	74	2.7	38.2	7.7	51.5	4.56	3.82	119
	PO	2.2	48	2.7	33.7	5.8	50.9	5.72	4.06	141
わかさま黒	遠赤色カット	2.0	78	2.6	43.9	8.9	52.8	4.94	4.15	119
	PO	2.0	82	2.3	36.6	7.1	51.5	5.50	4.23	130

各品種ともPOに対し 5%で有意 1%で有意 2003.4.4は種、110粒/m<sup>2</sup>条 2003.8.11調査

表2 栽培期間中の被覆資材別トンネル内積算温度 ( °・day )

基準 温度	気 温		地 温	
	遠赤色光カット	P O	遠赤色光カット	P O
>30	29	71	0	37
>25	105	186	35	119
>20	358	453	286	428
<15	20	36	4	2
<10	1	3	0	0

測定期間 2003.4.4~2003.8.11 気温：地表面より5cm上で測定 地温：地表面より3cm下で測定

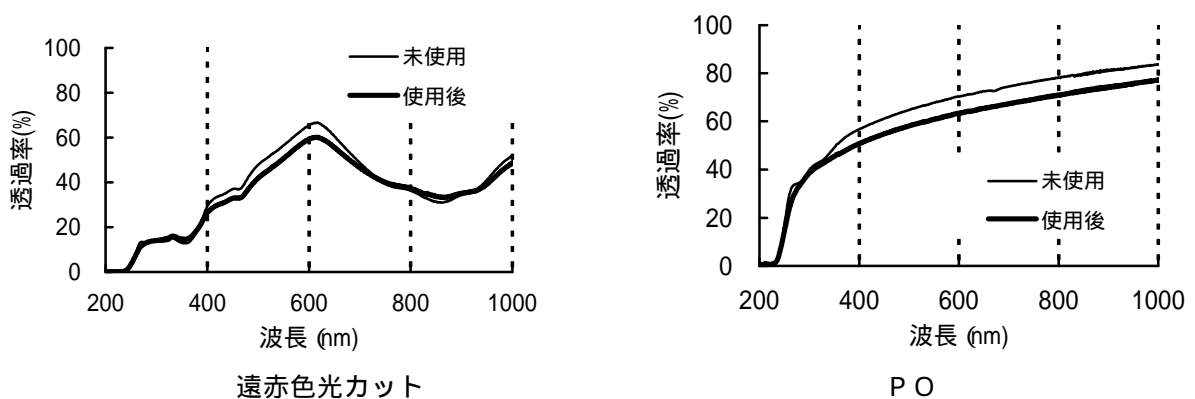


図2 曝露がフィルムの波長別光透過率に及ぼす影響 (曝露期間 2003.4.4~8.11)

[資料名] 平成15年度試験研究成績書(野菜)

[研究課題名] 国際化に対応した国産野菜等の持続的生産技術の開発

[研究期間] 平成15年度

[研究者担当名] 深山陽子・衣巻 巧・高柳りか・河田隆弘・北 宜裕